

湖西市水道事業経営方針検討会 第4回説明資料

日時 令和2年3月10日午後1時30分
場所 湖西浄化センター2階会議室
所管 湖西市環境部水道課

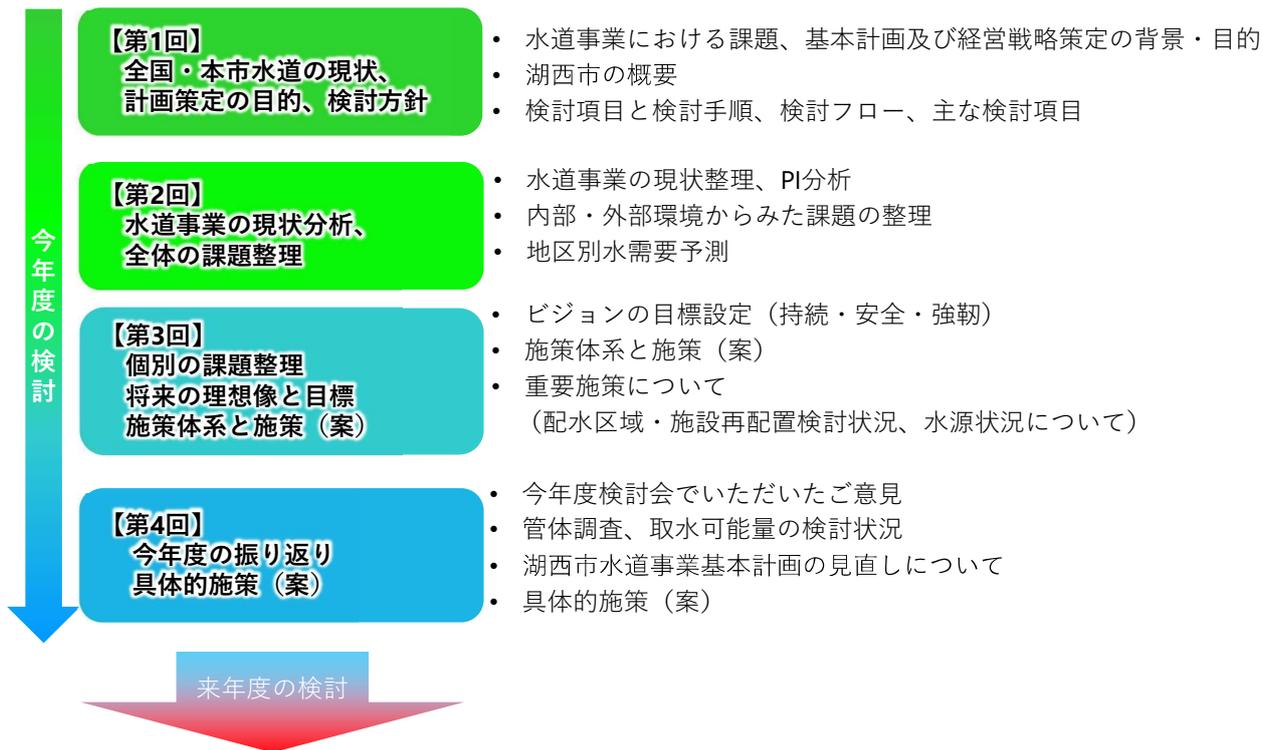
1

-目次-

1. 今年度の振り返り		}	資料1
①取り組みの流れ	・・・P.3		
②検討会における主な意見（今年度振り返り）	・・・P.4	}	資料2
2. 検討状況の報告			
・管体調査について		}	資料3
3. 湖西市新水道ビジョンについて			
第1章 水道事業を取り巻く環境	・・・P.2	}	資料4
第2章 水道ビジョン及び 経営戦略策定の検討方針	・・・P.10		
第3章 湖西市水道事業の現状と課題	・・・P.13		
第4章 目指すべき将来像と取り組み	・・・P.61		
4. 来年度の検討フロー		}	

2

1. 今年度の振り返り ① 取り組みの流れ



3

1. 今年度の振り返り ② 検討会における主な意見

【第1回・第2回検討会】

●分析・評価方法

- （意見）経営比較分析について、財政状況の悪い団体も含んだ平均と比較してしまうと、悪い状態でも問題ないと判断されるため、望ましい値を決めて比較するのがよいのでは
- （意見）事業収益対資金比率の評価が過大過ぎる（全国平均と比較すると低い）のではないか
- （意見）現状のPI分析だけでなく、計画検討の結果によるPI推移を確認し、効果検証を行うべき

●水源関連

- （意見）深井戸について50年先も見据えて問題はないという根拠について、市としても整理できた方がリスク管理となるので、検討してほしい
- （意見）安定的な水源確保として、東三河（豊川）からの受水を検討すべきではないか

●管路等の更新設定

- （意見）管路の耐震化は配水支管を優先的に進めても、基幹管路が被災すると配水区域全体への配水が停止するので、重要度等を設定して効果的に更新を進めていくことがよい

●技術力の確保

- （意見）職員がかなり少ないという印象を持った。外部委託しているのか
- （意見）近隣事業体との技術交流や民間との技術提携を行うなど、技術力の維持・継承を図るべきではないか

4

1. 今年度の振り返り② 検討会における主な意見

【第3回検討会】

● ビジョンにおける3つの観点と施策について

【全体について】

- (意見) 3つの観点は「安全」・「強靱」・「持続」の順にすべきではないか
- (意見) 管路の更新は耐震化にもなることから、「持続」「強靱」両方に入っているどちらかに整理すべきではないか
- (意見) 具体的施策で「検討」としているものが多いが、実際に実施していくのであれば「実施」という言葉にした方がよい

【各施策について】

- (意見) 具体的施策「水道料金以外の収入確保検討」において、遊休資産の売却があるが、資産売却による収入は一時的なものであるなのでこの施策とは別にした方がよい
- (意見) 水道施設台帳の電子化について、特にGISは維持費用もかかるものであり、費用対効果を検証したうえで導入を検討してほしい
- (意見) 施策「県の動向を踏まえた広域化手法の検討」について、県の方針を待つのではなく、近隣事業体と何ができるのか、国の動きや近隣事業体の動きも参考に、自主的に情報交換し、逆に県に提案することも検討していただきたい
- (意見) 具体的施策「各種災害対策の検討」は、BCPを策定するのであれば「BCPの策定」とした方がよい

● 施設再編について

- (意見) 水道施設の統廃合に伴うメリット・デメリット及びその対応策を市民にわかりやすく説明すべきではないか
施設の廃止により災害時の給水対応が変化するのであればその内容を示すべきではないか